

# 聴力検査の方法

3歳児健診では、お子さんの耳の聞こえの確認をしています。ご家庭で聞こえの検査をしてみましょう。検査の結果は、3歳児健康診査票（裏面）のアンケート用紙に記入して健診日にお持ちください。

## <聴力検査の必要性>

耳はお子さんのことばや知能の発達にとって、とても大切な働きをします。生まれつき聞こえが悪かったり、耳の病気で難聴になったりすると、たとえその程度は軽くても、後々大きな影響を与えかねません。今回の健康診査は耳の聞こえの異常を発見する良い機会ですので、聞こえの検査をおこなってください。

また、検査は、なるべく外を車などが通っていない時にテレビやラジオを消して、部屋を静かにしておこなってください。検査がうまくできない時は、日を改めて再度検査してみましょう。

## ささやき声による聞こえの検査（絵1）

- 1 子どもと親がテーブルをはさんで、1 mくらい離れて向かい合います。
- 2 「この絵の名前を言うから、お母（父）さんが言った絵を指さしてね。」と子どもに言います。
- 3 普通の声（会話をする時の声）で、絵シートに表示してある絵の名前（注1）を言い、子どもが6個の絵をすべて正しく指せるまで練習します。
- 4 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて指さしてね。」と子どもに言います。
- 5 口元を手などで隠し、6個の絵の名前を、ささやき声（注2）で1回ずつ（注3）言い、正しく指せればアンケート用紙に○を、正しく指せなければ、×を記入してください。

（注1） ツミキ、キリン、ジュースは比較的高い音、オフロ、ボール、ウマは比較的低い音のことばです。高い音と低い音の聞こえの確認のため、ツミキをブロックと言うなど言い換えずに検査してください。

（注2） 息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声は、喉に手をあてたときに指に振動を感じますが、ないしょ話のようにささやくと振動を感じません。この状態がささやき声です。

（注3） ささやき声で絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。また、ささやき声が大きくならないように注意してください。

## 指こすりによる聞こえの検査（絵2）

- 1 親は子どもの後ろに位置します。
- 2 親は子どもの耳の真横5 cmより少し後ろのところで、親指と人差し指を5～6回こすります。この時指が髪に触れないように注意してください。
- 3 子どもに聞こえたら、手を挙げるよう覚えてもらいます。
- 4 できるようになったら、交互にではなく右、左、左というようにランダムに検査します。
- 5 聞こえたら○を、聞こえなかったら×をアンケート用紙に記入してください。

